

■福島大学基金について

福島大学基金は、本学の教育・研究・地域貢献活動を幅広く支援し、未来を担う人材の育成と地域社会の発展に寄与することを目的として設立された基金です。皆さまから寄せいただいたご寄附は、次のような事業に活用させていただきます。

教育・学生支援事業

グローバル社会で活躍できる人材育成をめざし、教育環境の整備に活用します。

研究推進事業

学術振興の進展のため、福島大学全体の研究推進に関する事業に活用します。

大学の発展・充実に資する事業

本学の教育・研究・学生サービスの充実のため、学内環境の整備に活用します。福島大学では創立80周年を記念し、3つのプロジェクトを立ち上げました。福島大学と地域社会のさらなる発展のため、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

お申し込みについて

お申し込み方法

福島大学ホームページ内の「福島大学基金」お申込みフォームからお手続きいただけます。

ご寄附の入金方法は、クレジットカード、銀行振込、郵便振替などをご利用いただけます。詳細は福島大学ホームページをご確認ください。

※ 現金でのご寄附、インターネットを利用しないお手続きをご希望の方は、福島大学 総務課 広報・渉外室 校友会・基金支援係へご連絡ください。

福島大学基金ホームページ：<https://www.fukushima-u.ac.jp/donation/>



税法上の優遇

本学が発行する「寄附金領収書」を添えて、確定申告によりお手続きください。

個人からのご寄附 (所得税法第78条第2項第2号)

■ 所得税
年間の寄附金額（総所得金額等の40%相当額が上限）のうち、2,000円を超える部分について、所得税の寄附金控除を受けることができます。

■ 住民税
本学への寄附は、お住まいの都道府県・市区町村の条例により、個人住民税（県民税・市町村民税）の寄附金税額控除の対象となる場合があります。

法人からのご寄附 (法人税法第37条第3項第2号)

本学への寄附金は、寄附金の全額を損金に算入することができます。

謝意の表明

ご寄附いただいた皆様へ感謝の気持ちを込めて、顕彰および返礼品をご用意しております。

詳しい内容はこちらからご確認ください。→



■お問い合わせ先

国立大学法人 福島大学 基金事務局（総務課広報・渉外室内）
〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
TEL: 024-503-4991 FAX: 024-548-3180
E-mail: kikin@adb.fukushima-u.ac.jp
80周年記念事業ホームページ: <https://www.fukushima-u.ac.jp/80th/>



～未来へつなぐ知と共創～ 福島大学創立80周年 記念事業



■学長挨拶

福島大学は、令和11年に創立80周年という大きな節目を迎えます。昭和24年の創立以来、本学は地域に根ざした国立大学として、教育・研究を通じた人材育成と知の創造に取り組み、地域とともに歩んでまいりました。この歩みは、学生・卒業生をはじめ、地域の皆様、企業、自治体など、多くの方々のご支援とご協力によって支えられてきたものです。

本学は現在、「福島大学グランドデザイン2040」のもと、「新しい社会のあり方を提案できる大学」「個人と社会の Well-being の実現を目指す大学」をミッションに掲げ、「正解のない問い」に挑戦できるイノベーション人材の育成と、地域と世界が直面する複雑な課題の解決に向けた研究を推進しています。令和9年度からは4学部体制へ移行し、文理融合・分野横断型の「共創知教育」を通して、専門性に加え、地域との協働により新たな価値を創造できる人材の育成を進めてまいります。

創立80周年記念事業は、このような未来への挑戦を支える取組です。本学の歴史と知を次世代へ継承するとともに、教育・研究環境の充実、安全・安心で持続可能なキャンパスづくり、さらに国内外へ開かれた知の共創拠点としての基盤整備を進め、次の100年に向けた確かな礎を築いてまいります。

創立80周年が、福島大学と地域の未来をともに切り拓く新たな出発点となることを願っています。福島大学はこれからも、人と知が響き合い、新たな価値を創造する大学として、挑戦を続けてまいります。

福島大学は「知の拠点」として
地域とともに歩みを進めて
まいります。



福島大学学長 佐野孝治

History 福島大学のあゆみ

1874	明治 7 年	福島師範学校講習所開校
1921	大正10 年	福島高等商業学校設置
1949	昭和24 年	福島大学設置
1979	昭和54 年	教育学部と経済学部が金谷川キャンパスに移転統合
1987	昭和62 年	行政社会学部を設置
2004	平成16 年	国立大学法人化に伴い、全学再編(学群・学類・学系制) 共生システム理工学類を設置
2011	平成23 年	東日本大震災・原発事故発生→うつくしまふくしま未来支援センターを設置 (地域未来デザインセンターに改組)
2013	平成25 年	環境放射能研究所を設置
2019	平成31 年	農学群食農学類を設置
2021	令和 3 年	食農学類附属発酵醸造研究所を設置
2023	令和 5 年	大学院再編 [地域デザイン科学研究科、教職実践研究科 (教職大学院)、共生システム理工学研究科]
2024	令和 6 年	共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所を設置
2027	令和 9 年	全学再編 (学部・課程・学科制) 教育学部・政経学部・理工学部・食農学部に変更
2029	令和11 年	福島大学は創立80周年を迎えます



事業の目的

福島大学は2029(令和 11)年に創立80周年を迎えます。

本記念事業では、「福島大学グランドデザイン 2040」に基づき、教育・研究・社会貢献を通じて地域とともに歩む大学の姿を発信します。

学生・教職員・卒業生・地域の皆さまや企業など、多様なつながりを活かしながら、大学の魅力や役割への理解と共感を広げ、次の90周年、100周年に向けた支持基盤の形成と、大学の持続的な発展につなげることを目的とします。

復興から共創へ

教育

- 問題解決型教育の推進
- 異分野融合を促進する教育組織の再編
- 教育の質保証徹底と学修者中心のカリキュラム構築
- 文理融合・分野横断型の共創知教育の推進

研究

- 異分野間の共同研究を推進
- 人文社会系との融合を期待した理・工・農学系の研究強化
- 環境放射能研究所、発酵醸造研究所、水素エネルギー総合研究所等の研究を進化・発展

地域社会との連携

- 地方国立大学の社会貢献の在り方を再構築・強化
- 研究者が問題解決に関わる地域貢献の実践研究を設計
- 将来の地域の姿や課題を明確化し、逆算して課題を提起

教員養成・附属学校園改革

- 震災・原発事故復興と少子化に対応した教員養成の福島モデルを構築
- 少子化を考慮した附属学校園の抜本的改革を実施

地域に即したグローバル教育を全学で推進

- Fukushima Ambassadors Program を発展させ、地域に即したグローバル教育を全学で推進
- 留学生の増加、学生の語学力向上、海外インターンシップの充実
- 海外研究機関等との共同研究の推進・拡大

記念事業 5つの取り組み



80周年記念プロジェクト

防災対応型運動施設整備プロジェクト

目標:5億円



詳しくはコチラ

授業や地域活動で活用される陸上競技場の老朽化した設備とインフィールドを改修し、防災機能の強化と多目的フィールドへの再整備を行うことで、安全かつ安定的な教育・交流環境を整えます。教育・防災・地域貢献の三位一体による整備を通じて、大学の信頼性とブランド価値の向上を図る取組です。



教育と安全を支える地域のスポーツ拠点。

自然共生キャンパス環境整備プロジェクト

目標:2億円



詳しくはコチラ

金谷川キャンパスの豊かな自然環境を保全・活用しながら、環境大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣から認定された「自然共生サイト」の活動を後押しする取組です。大学の教育・研究・地域連携の力を結集し、生物多様性の保全と持続可能な社会の実現に貢献します。



多様な命が息づく自然豊かなキャンパスで育む学び。

知の継承と発信のための資料館構想プロジェクト

目標:3億円



詳しくはコチラ

本学に蓄積された学術資料や研究成果を保存・公開し、学生の主体的な学びを支える教育資源として活用するとともに、大学の理念や特色を広く社会に発信する場として資料館施設を設置し、教育・研究・広報の拠点とすることを目的とします。



知と記憶を未来へとつなぐ資料館。